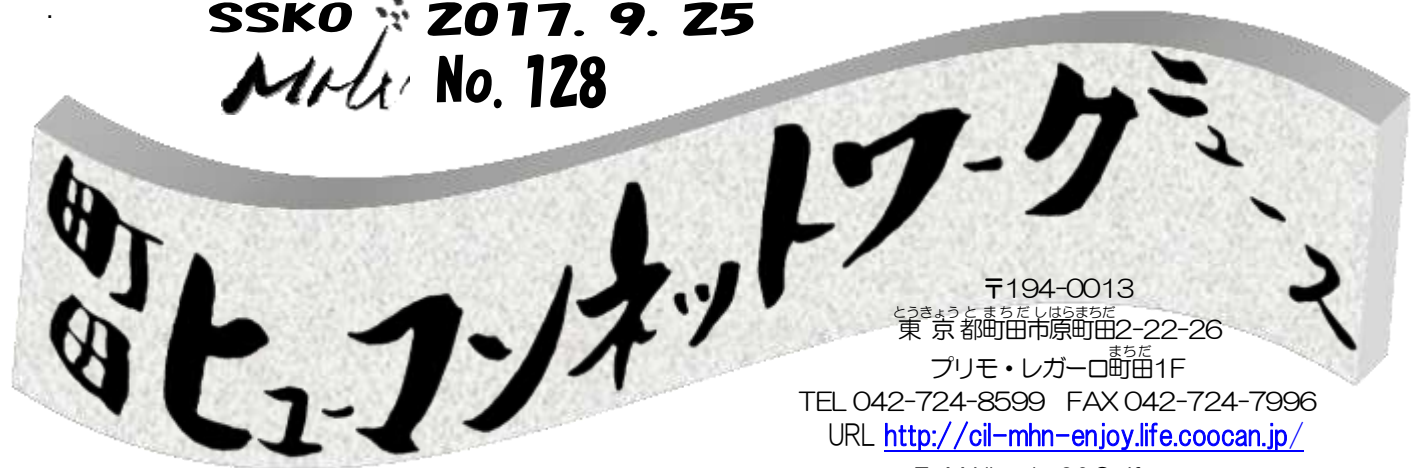


SSKO 2017. 9. 25
No. 128



暑気払いのひとこま



目次

＜表紙＞ 暑気払いのひとこま	1
低所得の高齢障害者の介護保険自己負担をゼロに	3
「ともに生きる社会」を考える7.26神奈川集会	4
JIL総会 & 全国セミナー参加報告	6
これがうわさのスマートホームドア!	8
自立生活プログラム・話し合いクラス募集	9
でかけ隊 6・8月	10
難病・内部疾患ピアカン公開セミナー報告	13
ピアカン公開セミナーお知らせ	15
わたしのおすすめ [19]	16
ヘルパー大募集!!	17
事務局の動き	18
10.27大フォーラム お知らせ	19
今後の大きな動き	13
イベントお知らせ 編集後記等	16



↑ この後、土砂降りに。
それでもビールは変わらずうまい。

こうれい なつ たの
恒例の夏のお楽しみ

ひさ
いやあ、久しぶり →



これ、おいしい →



うでによりをかけて。



アップなら、わたしでしょ →

「65歳問題」に対応…低所得の高齢障害者の介護保険自己負担をゼロに

低所得の障害者が65歳になって介護保険制度に移行した場合、総合支援法では自己負担がなかったのに、新たに1割の自己負担が生じるという問題がありました。

この問題を解消するために、一度支払った自己負担分を障害福祉の制度(障害者総合支援法)によりあとから払い戻す(償還する)という仕組みが、2018年4月より実施されます。対象になるのは、以下の要件をすべて満たす人です。

★対象者の具体的要件

①対象者

65歳に達する日の前の日まで、5年間にわたり、②の「対象となる障害福祉サービス」の支給決定を受けていたもの(サービスの利用がなくても、支給決定を受けていればOK)。

②対象となるサービス

- ・障害福祉サービス…居宅介護 重度訪問介護 生活介護 短期入所
 - ・介護保険サービス…訪問介護 通所介護 地域密着型通所介護 短期入所生活介護
- 小規模多機能型居宅介護(介護予防サービスは含まない。)

③所得の状況

65歳に達する日の前日において「低所得」又は「生活保護」に該当し、65歳以降に利用者負担の軽減の申請をする際にも「低所得」又は「生活保護」に該当すること。

④障害の程度

65歳に達する日の前日において、「障害支援区分2」以上であること。

⑤その他

65歳まで介護保険サービスを利用してこなかったことを要件とする。
指定疾病を要件とする「2号被保険者」(40～64歳)及び2号被保険者から引き続いて1号被保険者(65歳以上)になった人は対象外。

※今回の法改正の趣旨は、いわゆる「65歳問題」、つまり①長年(5年以上)にわたり、障害福祉サービスを利用してきた障害者が、②“65歳”という年齢に達したことのみに、利用者負担(1割)が発生することに対応することであるため(「厚生労働省社会保障審議会障害者部会資料(平成29.6.26)」より)。

来年4月からの実施ですが、厚生労働省の担当課に問い合わせたところ、上記要件を満たしていれば、すでに介護保険サービスを受けている方々も対象になるとのこと。ただし、さかのぼれるのは「自立支援法定(2006年)以降」とのことなので、「2011年4月以降に65歳になった方」が対象とされます(筆者推測)。

また、指定疾病などにより65歳以前から介護保険を受けざるを得なかった「2号被保険者」がこの仕組みの対象外というのは、障害者間に格差を設けるという意味で大きな問題です。

今後の動きに注目していきたいものです。(文責：堤)

「ともに生きる社会」を考える7.26神奈川集会が開催

7月26日、「津久井やまゆり園事件」の1周年忌に、横浜市にある男女共同参画センター横浜で「ともに生きる社会」を考える7.26神奈川集会が開かれました。

半年前の集会では、入所施設が地域で生活する時の困りごとを解決して地域で暮らせるようにサポートし、また、グループホームや居宅介護などの地域にあるサービスが障害の重い人たちも支えられるものとなるように考え、行動することを決めました。

今日の集会では、19名の方々を追悼するとともに、「ともに生きる社会かながわ憲章」に書かれた「ともに生きる社会」の実現に向けて開催されました。

早稲田大学教授で知的障害と自閉症を持つお子さんがいる岡部耕典さんが、基調講演を行いました。「北風」でなく「南風」を吹かせようと提起され、アメリカ・ニューハンプシャー市の脱施設化の実践を紹介されました。「施設解体」ありきではなく、「地域生活支援の保証」を、と強調されました。

大きな参考になるニューハンプシャー市の脱施設化の成功のポイントは、

- ① 地域での自立生活支援を当事者の権利として保障し財源を保障する法律の制定 (1975年)
- ② 「入りたくない人は入らなくてすむ」地域自立生活支援の保証 (ポジティブな焦点化)
- ③ 期限を区切らず、「出たい人から出て行く」地域移行 (ネガティブな焦点化はしない)
- ④ 段階的な入所者減に対応した施設職員の計画的な再教育と地域支援職への転換

その後、事件後にやまゆり園に入所していた人を受け入れるグループホームづくりを表明した社会福祉法人理事長の佐瀬睦夫さんと、横浜市グループホーム連絡会代表の室津滋樹さんの話が続き、いろいろな立場の人か参加したシンポジウムが行われました。濃い内容の半日でした。(李)

集会に参加して ***** (吉野)

2017年7月26日、横浜の戸塚で開催された「ともに生きる社会」を考える7.26神奈川集会に行ってきました。1年前、神奈川にある相模原津久井やまゆり園にて19人の仲間の命が、一人の青年の「障害者是不幸をうむ」という思い込みから絶たれてしまったことで開催された集会です。

この集会は、多くの賛同人、賛同団体によりこれからの日本で、障害を持った人々が、持たない人達と共に「生きる」ために「考える」集会でした。

あの事件があった後、私たち障害者は言いしれない「恐怖感」と「憤り」と「疎外感」を持ち、それでもともに生きるインクルーシブな社会を目指してこの1年いろいろな場で集会をしたり、訴え続けてきた1年でした。そんな中、1年を迎えたこの日、いろいろな障害を持った当事者、その障害者に関わる家族、関係者等いろいろな立場を超えて「ともに生きる社会」を考えるために集ったのでした。

知的障害者の親御さんである岡部耕典さんのお話、実際に自立生活を送っている知的障害者の生活の動画を見たり、支援する側、また家族としての思い考え等いろいろな立場からの報告やお話が、舞台上では話されていきました。



JIL協議会協議員総会 & 全国セミナーに参加してきました！

6月19日(月)～6月21日(水)に仙台市情報・産業プラザで開催されたJIL総会 & 全国セミナーに町田ヒューマンネットワークからは理事長の堤以下、川上・笠井の3名が参加しました。

話は少し逸れてしまうのですが、J R 仙台駅周辺は東日本大震災の名残はまるでなく美しい街並みが広がっていました、テレビの前で見た6年前の無残な映像の記憶と全く重ならない目の前の光景に人間の持つ回復力の力強さと、現実にもなお不便な避難生活を強いられている人や命を落とした人、大切な人を失った人、帰る場所を失った人・・・その中には障害当事者やその関係者も含まれているのですが、多くの犠牲の下に今を生きる私たちの生活があることを常に心の中に置いて忘れないことに、この土地で総会が行われる意味があるのだと思いました。

今回の全国セミナーは分科会がなく、全てコマが全体会形式で行われました。全ての内容を羅列しても長くなるだけなので、印象に残ったコマを幾つか拾って報告したいと思います。

【いきなりピアカン・・・です！】

初日、幕開けのコマ「スーパーレジェンド降臨ーピアカンアレルギーSMX（さらにマックスー）」が個人的に今回のセミナーでは一番面白かったです。2017年度から新しい体制に変わったピア・カウンセリング委員会の新メンバーとスーパーレジェンドの一人である安積遊歩さんのシンポジウムでしたが、隣にスーパーレジェンドの一人と言っていい堤が座っていて、普段から事務所で話をしているので、さほど真新しさを感じることはありませんでしたが、新しく委員長になった安原さんと安積さんのやりとりが、安原さんのノリの良い関西弁と安積さん独特な間の話し方が、漫才のボケとツッコミのような感じで聞いていて楽しかったです。でも面白く(楽しく)話をしていながらも押さえるべき点は押さえていて、ピア・カウンセリングの方向性は「今のままで良いのか？」的な話が、“そもそも”を展開する中で垣間見ええました。町田ヒューマンネットワークはピア・カウンセリングを大切にしていくなかで考えさせられる時間となりました。

【感情より理論武装の時代が来た！】

次は二日目のコマ「介護保障を考える弁護士と障害者の会全国ネットの事務局弁護士による説明」です。ここで感じたのは重度障害者が地域で自立生活を実現・継続して行く上で必要とする介助時間数を獲得するには最初から弁護士を介在させて法的な理論武装をし、“裁判も辞さぬ”という覚悟を見ることが、行政に対して圧力をかけることに繋がり良い結果が出る可能性が高い時代になったのだなということです。

私は以前に障害厚生年金と傷病手当金の受給申請の際に審査請求と再審査請求を行った経験があるのですが、最初に出た不支給裁定は変わることはありませんでした。最初から難しいと考えられる案件で、後学のためもあり申請したので自分の知識(それなりに知識はある)のみで申請から再審査請求までしたのですが、この場合は社会保険労務士の守備範囲になる部分が多いのですが、当時は“専門家に依頼する”という発想はありませんでした。市会議員を通じ国会議員に陳情する発想はあり

ましたが。その後は障害者運動に関わるようになり介助時間数交渉の現場の話を見聞する機会が増えました。その際に感じてきたことは行政側がもう感情の揺さぶり“障害者は大変だ!”的な要求だけでは動かない、客観的な視点による事実の積み重ねと法律に則った申請書類を用意することで行政を動かすことができ、その際に専門家の力を借りることが有効な時代になりつつあるのだと・・・それはC I Lの理念の一つである“障害者の専門家は障害者“という言葉には相反するかもしれませんが、発想を変えて考えると多くの場合は健常者である弁護士との協業が共生社会を実現する上で一つのアプローチになる可能性は感じています。大切なことは案件に対し、イニチアチブはしっかり握り丸投げしないこと、ここさえ押さえておけば恐れることは何も無いのだとの思いに至りました。

【どうする? 障害種別の垣根】

最後に協議員総会について、考えたことを書きます。決算報告案・事業報告案・予算案については概ね平穏だったのですが、事業計画案の中に知的・発達障害者、精神障害者に対する支援を検討するプロジェクトチーム発足することが政策委員会から発表されましたが、それには異論が多く出ました。やまゆり園事件に端を発した話であり、それらの障害に対する支援の取り組みは一部のC I Lを除き、立ち遅れていた部分だったことは事実としてあり、悲しく辛い事件に対する憤り等が契機になり支援の強化へ取り組んで行くことは一致結束できるところであり、その方法論では色々な意見が出ましたが、やはり「この場やプロジェクトチームに当事者(特に知的障害)の人が居ないのはおかしい(実際は総会に精神障害の人も居たし、プロジェクトチームには外部からピープルファーストの人を迎えている)」という声が多くあり、意思の疎通やその汲み取り方の難しさから、そこに存在している筈なのに、あたかも存在していないような錯覚を起こしやすいこと、事実としてそのような障害を持った人の意向を無視する形で議論が進んでしまうことが多々あり、なかなか正解の出ない課題です。今後はJ I Lがどのような議論を経てどのような施策を打ち出して行くのか注視することは当然のことですが、それに先駆け、しっかりと内部でも議論をして行かなければならないとの思いを強くしました。

その他にも興味深いカリキュラムがあり、それぞれが充実した内容だったので今後の町田ヒューマンネットワークの事業に活かして行きたいと考えています。

【紹介できなかったカリキュラム】

- ・センターの事業はどのように決める?
- ・情勢報告
- ・ダスキン障害者リーダー育成海外研修派遣事業について
- ・障害者差別禁止条例サミット
- ・常任委員選挙とグローバル I L サミットツアー & A D A 2 7 訪米団結団式

かわかみ
(川上)

これがうわさのスマートホームドア！

じえいあーるよこはませんまちだえき さくねん が っ はしもと はちおうじほうめん ばんせん がわ ぜんたい
J R 横浜線町田駅で、昨年 1 2 月より橋本・八王子方面（4 番線）側のホーム全体に
ホームドアが付きまして（J R では独自開発したホームドアをスマートホームドアと呼んで
います。）ホームドアの写真です。これなら安心という声と、線路が見えてしまうので安心感
は感じにくいという声もありました。あなたも試し乗りをしてみませんか？



福祉機器のトータルプランナー

PAMUK
パムック

〒133-0061

東京都江戸川区篠崎町 7-23-5

TEL: 03-5666-4801

EMAL: PAMUK@PAMUK.CO.JP



<http://www.pamuk.co.jp/>

2017年度 C I L町田ヒューマンネットワーク 自立生活プログラム・話し合いクラス 「自立生活をはじめ／ふりかえる」

とつくに夏が過ぎ去り、すっかり秋になった今日この頃ですが、みなさまお変わりありませんか？

C I L町田ヒューマンネットワークではこの秋から冬にかけ、障害を持っている人を対象に自立生活プログラム・話し合いクラスを行います。

自立生活を目指している方、自立生活に興味のある方はもちろん、既に自立生活をしている方も、障害を持ちながら同じような立場で話し合える場ってなかなかありませんよね？

今回は基本的なことに立ち返りつつ、新しさや楽しみもあるプログラムを立ててみました。誰かにとっては「新しい！」なり、誰かにとっては「ふりかえる！」ことになり、みんなであれこれ話しながら「楽しい！」と感じられる場にしていきたいと考えています。

今更ですが障害の種別は問いません！ふるってご応募くださいませ！

記

日時：2017年11月10日～12月22日（毎週金曜日）全7回 13：30～16：30
（初回のみ13：00～）

場所：MHN事務所フリースペース、町田駅周辺公共施設

参加資格：自立をはじめたい／自立をしている障害者で全7回参加の可能な方

定員：6名（※応募人数によって選考になる場合があります）

リーダー：川上一三・谷川俊太郎ほか

参加費：7000円（資料代込、フィールド・トリップ（外出）の交通費実費）
会員の方は3500円

申込・問い合わせ：194-0013

東京都町田市原町田2-22-26 プリモ・レガーロ1F

C I L町田ヒューマンネットワーク

電話 042-724-8616／FAX 042-724-7996

メールアドレス mhn-machidaya@mbr.nifty.com

担当 川上・谷川

※申込は郵送・ファックス・添付メールでお願いします。

応募〆切：10月25（水）必着

参加が決まり次第こちらからご連絡致します。

※1 介助が必要な方はご自分で連れてきてください。

※2 都合によりプログラムの内容や日程を変更することがございます。

2017年度 CIL町田ヒューマンネットワーク
 自立生活プログラム・話し合いクラス
 ～自立生活をはじめる／ふりかえる～

日程	場所	テーマ	リーダー
1回目 11月10日(金)	MHN事務所 フリースペース	自己紹介 目標を決めよう！ ～1ヶ月半後こう なっていたい！～	川上・谷川
2回目 11月17日(金)	MHN事務所 フリースペース	私の身体・私の障害 ～健康管理～	谷川・川上 ゲスト：吉野
3回目 11月24日(金)	町田市文学館 ことばらんど 第6会議室	緊急時の対応 ～いろいろな困った 時のことを考える～	川上・谷川 ゲスト：李
4回目 12月1日(金)	「未定」	衣・食・住 ～生活いろいろ～	谷川・川上 ゲスト：松原
5回目 12月8日(金)	「未定」	コミュニケーション アサーティブな伝え 方を学ぼう！	川上・谷川 ゲスト：堤
6回目 12月15日(金)	「未定」	出かけよう！【フィ ール・ドトリップ】 お台場『フジテレビ』 へ見学に行こう！	谷川・川上 ゲスト：丸山
7回目 12月22日(金)	「未定」	前回の感想 全体の感想・振り返 り 継続クラスの説明	川上・谷川 ゲスト：齊藤

2017年度 CIL町田ヒューマンネットワーク
自立生活プログラム話し合いクラス
「自立生活をはじめる／ふりかえる」参加申込書

○氏名 (よみがな)

_____ (_____)

○生年月日・年齢・性別

西暦 _____ 年・満 _____ 才・(女性 / 男性)

○住所 〒 _____

○電話番号／メールアドレス

_____ / _____

○障害名

○車椅子を使っていますか？ はい(電動／手動) ・ いいえ
その他の補装具を使っていれば書いてください

○言語障害はありますか？ はい ・ いいえ

○プログラム参加において、あなたに必要な配慮は？

○自立生活プログラムに参加したことがありますか？

ある・ない (いつ? _____ 年頃／どこで? _____)

○自立生活プログラム以外でプログラムや講座に参加したことがありますか？
どんなプログラムまたは講座ですか

ある・ない (いつ? _____ 年頃／どこで? _____)

○自己PRその他

(知っておいて欲しいこと、学びたいことなど、ご自由にお書き下さい)

A large, empty speech bubble shape with a circular body and a pointed tail at the bottom left, intended for a student to write their self-introduction or other information.

でかけ隊^{たい}

6^{がつ}月24日(土)^{にち}

6月^{がつ}のでかけ隊は恒例^{たい}の相模原^{こうれい}でカラオケ^{さがみはら}をしました。

町田^{まちだ}でそれぞれお昼^{ひる}を食べて、相模原^{さがみはら}まで行きました。

参加者^{さんかしゃ}が多^{おお}かったので、みんなが順番^{じゅんばん}にいろいろな曲^{きょく}を歌^{うた}っていたので、聞^きいているのも楽し^{たの}しかったです。曲^{きょく}が途切^きれることなく入^{はい}っていたのに、終^おわりの時間^{じかん}を過ぎ^すても歌^{うた}い終^おわらないくらいでした。帰^{かえ}り道^{みち}で、梅雨^{つゆ}の時期^{じき}のでかけ隊^{たい}は

カラオケになることが多いけど、あまり降^ふられたことがないことにも気付^{きづ}きました。(丸山^{まるやま})



8^{がつ}月26日(土)^{にち}

夏^{なつ}は江ノ島^{えのしま}ってことで江ノ島^{えのしま}に行^いきました。とても暑^{あつ}く夏感^{なつかん}

は満喫^{まんきつ}できましたが、曇^{くも}りでした。

お昼^{ひる}は、ばらばらに行動^{こうどう}しましたが、男性^{だんせい}はみんな一緒^{いっしょ}でした。

女性^{じょせい}はパンケーキとかで盛り上^{もあ}がったようです。

男性^{だんせい}は仲良^{なかよ}くまったりしていたり、女性^{じょせい}は水族館^{すいぞくかん}でショーも

見^みたりとそれぞれ楽し^{たの}めました。帰^{かえ}りの電車^{でんしゃ}の乗^のり継^つぎがスムーズでびっくりでした。(功^{いさお})

2017年度難病・内部疾患の方のための ピアカウンセリング公開セミナーを開催

6月^{がつ}11日^{にち}の日曜日^{にちようび}、「難病^{なんびょう}・内部疾患^{ないぶしっかん}の方^{かた}のためのピア
カウンセリングセミナー^{かいさい}」を開催^{かいさい}しました。

今年度^{こんねんど}に入^{はい}ってから町田市^{まちだし}の広報^{こうほう}「まちだ」の発行日^{はっこうび}も減^へってしまい中々^{なかなか}、数年前^{すうねんまえ}の様^{よう}には参加者^{さんかしゃ}も集まらなくなっ
ているのですが、今回^{こんかい}も12名^{めい}の方^{かた}が参加^{さんか}してくれました。この、
「難病^{なんびょう}・内部疾患^{ないぶしっかん}」という見え^いない障^{しょう}害^{がい}に対する取^と組^くみは、
数年前^{すうねんまえ}から町田ヒューマンではやり続^{つづ}けている事業^{じぎょう}の1つで、
近年^{きんねん}増^ふえてきている障^{しょう}害^{がい}の1つでもあります。



まいとし ぼしゅう なんびょう ないぶしっかん かた がん せいしんしょうがい はったつしょうがい ちてきしょうがい とうせき
 毎年、募集すると難病・内部疾患の方だけではなく、癌、精神障害、発達障害、知的障害、透析
 かんじゃ いろ み め わ しょうがい しっかん かか かたがた さんか
 患者など色々な見た目では分からない障害（疾患）を抱えている方々が参加されます。それはまた、
 ひとめ しょうがい かか ひと ちが こんなん だ せいかつ
 一目でわかる障害を抱えている人たちは違った困難を抱きながら生活しているのです。そんな、
 おも くらう ふあん など「ピア～Peer～（仲間）」と共に話し、聞き合うことで少しでも気持ちが楽に
 なれたら？ また「一人じゃないんだ」という事に気づいて
 かえ い まいとしかいさい わだししん
 帰って行ってもらえたら…。と毎年開催している私自身
 なんびょうかんじゃ ひとり
 も難病患者の1人です。

また、先ごろ7月より6年前から東京都の保健局で
 さき がつ ねんまえ とうきょうと ほけんきょく
 普及、配布し始めたこの「ヘルプ・マーク」のデザインが
 ふきゅう はいふ はじ
 標章登録され、全国に広がりを見せるようになりました。
 ひょうしょうとうろく ぜんこく ひろ み
 「見えない障害」を抱えながら生活していく思い、あな
 み しょうがい かか せいかつ おも
 たも是非セミナーに参加して体験してみてください。
 ぜ ひ さんか たいけん
 （よしの）



ピアカウンセリングセミナーを受けて・・・・・・ 鎧塚真次郎

こんかいはい さんか いただ ぼうとう さんかしゃぜんいん じ こしょうかい みな からだ
 今回初めて参加させて戴きました。セミナーの冒頭で参加者全員の自己紹介があり、皆さんの身体
 しょうじょう しょうきょう し わたし こと からだ いた ともな せいしんてき くつう
 の症状や状況を、そこで私はそれぞれ異なる身体の痛み、それに伴う精神的な苦痛がある
 こと はじ きつ こと ふたりひとくみ はな て き て こうご おこな はじ
 事に初めて気付きました。そしてその後、2人1組で話し手と聞き手を交互に行うセッションが始まり
 はな て こころ すなお は だ き て よ そ はなし き
 ました。話し手は心にあるものを素直に吐き出し、聞き手は寄り添うように話を聞く、というもの
 でした。

わたし じっさい いただ ふだんじぶん こころ なか ひと う あ きかい ため
 私も実際にやらせて戴きました。普段自分の心の中を人に打ち明ける機会がない為に、こうした
 けいけん はじ しょうしょうとまど ゆうき だ はな じぶん こころ なか
 経験は初めてで少々戸惑いましたが、勇気を出して話してみると、自分の心の中のモヤモヤがどんど
 で
 出てきて、スッキリしていくのが解りました。

じぶん ひと はなし き ひと おも わ あたた
 自分は独りぼっちじゃない、話を聞いてくれる人がいてくれる…という想いが湧いてきて、とても温かい
 きもち しあわ み た かんかく あふ き ご き て まわ
 気持ちになって、幸せに満ち足りた感覚が溢れて来ました。その後、聞き手に回りました。



き せい
 そうすると、ただ聞いているだけなのに、相手の苦しみや
 かな さび じぶん こと つた ふしぎ
 悲しみや寂しさが自分の事のように伝わってきて、不思議
 きもち あいて いっしょ いた きょうゆう
 な気持ちになりました。相手と一緒に痛みを共有している、
 わ あ かんかく さいしょ よ そ
 分け合っているような感覚です。最初は『寄り添う』とい
 ことば こ お こころ
 う言葉がピンと来なかったのですがセミナーを終える頃には
 よ そ かんかく なん りかいで き き
 『寄り添う』感覚が何となく理解出来た気がしました。そし
 いま まいにち せいかつ なか い おもう ひと
 て今、毎日の生活の中で活かされてるな、と思うのは人と
 きより いぜん くら ちち こと いぜん しょうたいめん
 の距離が以前に比べて縮まった事です。以前は初対面や
 にがて ひと はな つら よ そ きもち
 苦手な人と話すのが辛かったのですが、寄り添う気持ちで

せつ いや ひと い ひと
 接するだけで、嫌な人が良い人になったり、結果いろいろな人と向き合える様になりました。このセミ
 ーナーのおかげです。人間が本来持つ優しさや思いやりというのは、寄り添って聞く事で引き出されたり、寄
 そ き ひと はな こと ひ だ こと おし いただ き
 り添って聞いてくれる人に話す事で引き出されたりするんだな、という事を教えて戴けた気がします。
 ほんとう
 本当にありがとうございました。

ピア・カウンセリング 公開セミナー

ピア・カウンセリングの「ピア」というのは「仲間」という意味。それは、カウンセリングをしあう上で、「より近い背景・状態をもつ者同士である。」という安心感を与え、とても大きなものとなりえます。それは私たち、障害をもつ者同士がこのピア・カウンセリングを通して自己信頼を回復するための重要な手法です。今回は、障害の有無は関係なく、興味のある方々にピア・カウンセリングを体験して頂ける機会を設けることとなりました、ぜひこの機会にご参加ください♪

●日時：2017年 11月23日（祝・木）

13:30～16:45（受付 13:15～）

●会場：町田市民文学館ことばらんど 2F 大会議室

●リーダー：松原信幸・吉野裕子 他

●定員：15名（先着順）

●参加費：無料

●対象：ピア・カウンセリングに関心のある方
（障害の有無は問いません）

●申し込み：電話、メール、FAX でお願ひします。

定員に達し次第締め切りとさせていただきます

特定非営利活動法人 CIL 町田ヒューマンネットワーク

障害者生活支援センターまちだや（担当：吉野・松原）

メール//mhn-machidaya@mbr.nifty.com

tel.042-724-8616 fax.042-724-8599

わたしの おすすめ[19]

『演歌女子ルピナス組』 (テクノ演歌アイドルユニット)

ピアカウンセラー 谷川俊太郎

2015年冬。二度目の心筋梗塞のバルーン治療及び左脚切断の手術を終え、なんとか家に
帰りついた私。A病院で透析中、iPhoneで音楽を聞いていたら通信を要するもの(you
tube等)を見ても構わないことが確認できたので色々見ているとツイキャス(生配信サイト)
というものの存在を知り、いろんな配信を見て回る中、演歌女子ルピナス組というテクノ演歌
アイドルユニット(巷間言われるところの地下アイドル)を知りました。メンバーの中でもメ
ガネっ娘の益田えみさんはお気に入りとなり、以後一年と2ヶ月間ライブに行くことを優先して
しまうという生活をするようになるのでした・・・汗。演歌女子はその名の通り演歌が元にな
っているので「与作」・「北酒場」など私たちアラフィフ世代には耳馴染みの深い曲ばかり
がテクノアレンジされているので思わず歌ってしまえたりします。

地下アイドルがライブをするようなライブ・ハウスはほとんどがバリアフルで問い合わせた
お店の人の電話対応だけで行くのが嫌になるようなこともありました。でも中にはショッピング
モールイベントスペースや公園の一角で行われるフェスティバルであったりすると
車椅子的には参加し易い場所だったりもしました。演歌女子にハマるきっかけになった益田え
みさんの生誕祭は地下で階段のみでしたがライブに通って行く中で顔見知りになった同好の
仲間たちがツイッターなどで「着いたら手伝うよ」などと言ってきて電動車椅子と私とを
わけて階段のみの地下の会場に運んでくれたりしました。しかもそのようなことが何度もあ
りました。

作り始めていた『ライブハウスアクセス情報』はまだまだ作成半ばです。最近の私は舞台
にも手を出しているとかいないとか・・・ある程度、アクセス情報の表を埋め尽くし、人
に見せられるようなモノになるまで通うぞ!演歌女子の応援
も続けるぞ!と誓ってこの駄文を終えたいと思います!
ありがとうございました。



色紙を拡大してみると…。
演歌アイドルに囲まれての
ワンショット。
(ハマるのに納得・・・編集担当)



ちょっとの介助がピンチを救う！ ヘルパー 大募集！！ (男女問わず)

地域で自立生活している障害を持った方をサポートするお仕事です。
ご家族、ご友人へもご紹介ください！
短い時間でもOK！ 週1日でもOK！ 早朝や夜間働ける方大歓迎！

時給 **1,200円～1,450円**

(介護福祉士資格手当+50円)

研修中(2ヶ月)/1,000円 時間外・深夜割増有(22:00～翌6:00)



勤務地 町田市及び近隣地域

勤務時間 週1日1時間から週40時間まで様々です。
あなたの予定をご相談ください。

資格 **資格がなくてもOK**

無料の資格取得講座もあります。やる気のある方大歓迎！

交通費 上限1,500円まで支給

お問い合わせ ご興味のある方、お気軽にお問合せください。マイナビやタウンワークでも随時募集

特定非営利活動法人

町田ヒューマンネットワーク

TEL **042-721-5044**

FAX 042-724-7996 (担当:鈴木)

〒194-0013 東京都町田市原町田2-22-26 プリモ・レガーロ町田1F ヘルパーステーション・マイライフ

じょうじほしゅうちゅう
マイナビでも常時募集中！

事務局の動き

2017年6月16日～2017年9月15日

【主催講座等】

- ・親サポートオンゴーイング月1回開催
- ・でかけ隊開催 毎月第4土曜日
- ・ほっとカフェM毎月第3土曜日(基本)開催
- ・重度訪問介護従業者養成研修【随時】
- ・ピアサポートグループ(ピア・カウンセリング受講修了者継続クラス)1回/月
- ・ハンドブック委員会月1回開催
- ・TIL運営会議毎月1回開催(堤出席)

6月

- 16日(金) 東京都相談支援研修検討会 於 都心身障害者福祉センター 堤(出席)
「しょうがいしゃをよりよくサポートするための学習会」
於 国立 福島(研修)・廣瀬(参加) 7月7日迄(毎週)
- 17日(土) 社会福祉法人コメット理事会 於 コメット会館 堤(出席)
- 19日(月)～21日(水) JIL協議員総会・職員研修会 於 仙台 堤(出席)・川上・笠井(参加)
- 23日(金) 第5回介助者勉強会「障がいの理解～頸髄損傷 & 二次障がいについて～」
於 パーソナルアシスタント町田相模原事業所
- 26日(月) 社会福祉法人幹福社会評議員会 於 立川 堤(出席)
町田市障がい者施策推進協議会 於 市役所 堤(出席)
- 27日(火) 東京都相談支援従事者初任者研修講義 於 練馬文化センター 堤(講師)
障害者(児)の親プログラム 福島(担当)
- 28日(水) 東京都相談支援研修検討会作業チーム 於 都心身障害者福祉センター 堤(出席)
- 29日(木) 町田市障がい者施策推進協議会相談支援部会 於 市役所 堤(出席)

7月

- 4日(火) 東京都相談支援研修検討会 於 都心身障害者福祉センター 堤(出席)
東京都相談支援従事者現任研修打ち合わせ 於 都心身障害者福祉センター 堤(出席)
TIL総会・学習会 於 八王子 李(参加)
- 7日(金) 利用者交流会・第6回介助者勉強会「障害と共に自分らしく生きる」
於 町田市生涯学習センター 谷川(講師)・川上・松原・丸山(担当)・堀内(参加)
- 8日(土) 社会福祉法人コメット20周年記念式典 於 コメット会館 堤(出席)
- 10日(月) ILPリーダーズ 於 せりがや会館 川上・齊藤(担当)
慶応大学病院個別相談 谷川(担当)
- 13日(木) CIL釜山交流会(学習会)
- 14日(金) ピア・カウンセリングリーダー研修 於 せりがや会館
堀内・松原・谷川・吉野・川上(参加) 7月28日迄
- 21日(金) 第7回介助者勉強会「聞こう!話そう!介助者の気持ち～聞きあいの手法を学ぼう～」
福島・松原(担当)
- 26日(水) 「共に生きる社会」を考える7.26神奈川集会 於 男女共同参画センター横浜

い よしの さんか
李・吉野 (参加)

とくていそうだんしえんじぎょうしよれんらくかいぎ おいて しやくしよ ほりうち つつみ しゅつせき
特定相談支援事業所連絡会議 於 市役所 堀内・堤 (出席)

29 日 (水) しよきばら い まるやまほか たんとう
暑気払い 李・丸山他 (担当)

8 月

3 日 (木) まちだししよ しやくしよ つつみ しゅつせき
町田市障がい者施策推進協議会相談支援部作業チーム 於 市役所 堤 (出席)

とうきよとうそうだんしえんけんしゅうけんとうかい おいて としんしんしやうがいしやかくし つつみ しゅつせき
東京都相談支援研修検討会 於 都心身障害者福祉センター 堤 (出席)

4 日 (金) にゅうもんこうぎ おいて まちだぶんかくかん
ピア・カウンセリング入門講座 於 町田文学館ことばらんど

たにかわ かわかみ よしの ほりうち まつばら たんとう がう にちまで
谷川・川上・吉野・堀内・松原 (担当) 9 月 1 日迄

7 日 (月) かな がわちゅうおうこうつう こんだんかい たにかわ たんとう さいとう まつばら さんか
神奈川中央交通との懇談会 谷川 (担当)・齊藤・松原 (参加)

7 日 (月) ~ 8 日 (火) とうきよとうそうだんしえんじぎょうしよれんらくかい おいて とけんしゅう みようがだに
東京都相談支援従事者初任者研修演習 於 都研修センター (茗荷谷)

つつみ かわかみ
堤 (ファシリテーター)・川上 (サポーター)

12 日 (土) かいじよしやべんきようかい でいーぐいでいーかんしやう こころ ふる さんか
介助者勉強会「バリバラ DVD 鑑賞～心が震える深いコトバ～」 李 (講師)

14 日 (月) あいえるびー おいて くにたち かわかみ たんとう
ILPリーダーズ 於 国立 川上 (担当)

24 日 (木) とうきよとうそうだんしえんじぎょうしよれんらくかい けんしゅうかい おいて はちおうじ つつみ たんとう
東京都相談支援従事者現任研修ファシリテーター研修会 於 八王子 堤 (担当)

28 日 (月) しやうがい つた あ かわかみ たにかわ さいとう
シグナル～障害の伝え合い～ 川上・谷川・齊藤

30 日 (水) とうきよとうそうだんしえんじぎょうしよれんらくかい おいて よよぎ つつみ こうし じゅこう さいとう じゅこう
東京都相談支援従事者現任研修講義 於 代々木 堤 (講師・受講)・齊藤 (受講)

31 日 (木) だい かいけいじよしやべんきようかい ちやうきほん おいて まちだしみん
第 8 回介助者勉強会「超基本 ごはんのつくりかた！」 於 町田市民フォーラム

いしづか こうし かわかみ たんとう
石塚 (講師)・川上 (担当)

9 月

1 日 (金) まちだしふくししせつぼうさいじやうほうでんつくれん
町田市福祉施設防災情報伝達訓練

14 日 (木) まちだしまちだちいきしやう しやくしえん
町田市町田地域障がい者支援セン

ちいきれんけいかいぎ
ター地域連携会議

おいて かいかん
於 コメット会館

「骨格提言」の完全実現を求める 10.27 大フォーラム

私たち抜きに 私たちのことを決めるな! 2017

- ◆昨年 7 月、相模原で起きた差別的憎悪犯罪(ヘイトクライム)を私たちは忘れません。しょうがいの有無・重症にかかわらず、いのちの価値は同じだと主張し続けます。
- ◆しかし政府は、措置入院を強化し、医療・福祉を治安のために使おうとしています。「我が事 丸ごと」と言いつつ社会保障を切り下げようとしています。それには断固反対です!
- ◆あくまで求めます! 権利発効、基本合意、骨格提言の完全実現を!!



日時= 10 月 27 日 (金)

12~15 時(開場 11 時)

場所= 日比谷野外音楽堂

内容= 基調報告/しょうがいし

やのリレートーク/各界からの

連帯アピールなど

主催=「骨格提言」の完全実現を求める
大フォーラム実行委員会

<https://daiforum1027.jimdo.com/>

〒154-0021 東京都目黒区青丘 1-30-21

スマイルホーム青丘 1F

独立生活センター HANDS 世田谷分付

TEL 03-5450-2861 FAX 03-5450-2862

E-mail: hands@h.sr.jp



ことし がつ にち ひびや しゅうかい
今年も 10 月 27 日に日比谷で集会。

と い さんか おーけー
飛び入り参加も OK! →

今後の大きな動き・イベントお知らせ

◎10月22日、衆議院選挙(今度の結果がいろいろな面に影響しそう)

◎やまゆり園の今後をめぐる動き

昨年7月に殺傷事件が起きた相模原市の障害者施設「津久井やまゆり園」の再建について、神奈川県黒岩祐治知事は8月17日、施設を現在より小規模・分散化させて再建する方針を明らかにした。報道陣に「施設の原状復帰という当初の方針は変更し、小規模化、地域移行という方向性で県として新しい方針を打ち出す」と述べた。(毎日新聞抜粋)(ヤッタ!)

◎12/2(土)～3(日) D P I 障害者政策討論集会 場所: 戸山サンライズ

◎東京都で障害者差別禁止条例制定の動き。

東京都では障害者差別解消条例の制定を検討中。D P I 東京行動委員会では「東京都障害者差別解消条例制定の動きと障害者差別解消法の見直しを考える」をテーマに、シンポジウムを開催予定。

日時: 10月15日(日) 14:15～16:30

会場: 東京都多摩障害者スポーツセンター 集会室 定員: 70名

連絡先 e-mail: ota@imail.plala.or.jp FAX 03-5282-0017 (太田宛て) TEL 03-5282-0016 (太田)

第11回市民協働フェスティバル「まちカフェ!」に町田ヒューマン参加予定

市民協働フェスティバル「まちカフェ!」は、町田市内で活動するNPO法人や市民活動団体、地域活動団体(町内会・自治会)などが一堂に集い、活動発表などを通じて交流を深めるためのイベントです。今年も町田ヒューマンとして参加します。開催日程は下記のとおりです。
開催日: 2017年12月3日(日) 時間: 午前10時～午後4時 場所: 町田市役所

ほっとカフェM おいしいコーヒーとお菓子

毎月第3土曜日 町田ヒューマン フリースペースにて

お気持ちのカンパをいただいています。



10月開催	10月21日(土)	14時半より
11月開催	11月18日(土)	14時半より
12月開催	12月16日(土)	14時半より

(クリスマス会として)

編集後記

○まるでドラマを見るような衆議院選挙に突入。動機の怪しい解散に始まって、民進党は希望の党への「合流」。選別・排除されながら大安売りの身売り? 理念と政策で創るのが本来の政党とは言え、土壇場で考える時間も与えないやり方にはズルさを感じる。人としての仁義は、政治スタンスの右左より優先すると思う。選別・排除を簡単に言う人が人権を大事にするものだろうか? (李)

自立生活センター 町田ヒューマンネットワーク

〒194-0013 東京都町田市原町田2-22-26 プリモ・レガーロ町田1F
TEL 042-724-8599 FAX 042-724-7996

URL <http://cil-mhn-enjoy.life.coocan.jp/> E-MAIL mhn89@nifty.com

障害者生活支援センターまちだや TEL 042-724-8616
ヘルパーステーション・マイライフ TEL 042-721-5044

(9月12日現在)

正会員	304名
賛助会員	14名
団体会員	9団体

年会費 正会員3000円 賛助会員3600円 会費振込先/加入者名: 特定非営利活動法人 町田ヒューマンネットワーク 郵便振替口座: 00130-4-539920